

健康づくりや医療費節約など暮らしに役立つ情報誌

ひろしま企業健康宣言通信

令和6年 **冬号**



しい・ろ・か

IROHA & KAEDE



ひろしま企業健康宣言
健康づくり優良事業所

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに清々しく新しい年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

さて、私も協会けんぽは、中小企業にお勤めの皆様とご家族のための医療保険者として、健康保険事業の運営を担っております。本年は、中期計画である第6期保険者機能強化アクションプランがスタートする年であり、より一層加入者サービスの向上や医療費適正化の促進をめざしてまいります。

加えて、関係諸団体様との「顔の見える地域ネットワーク」を構築し、地域や職域における健康づくりの取組み、企業における健康経営、ひろしま企業健康宣言の普及にも努めていきたいと考えております。また、本年4月から生活習慣病予防健診における付加健診の対象年齢が拡大されますので、加入者の皆様には是非ご活用いただきたいと存じます。

本年も、職員一丸となって皆様の健康づくりのお手伝いをさせていただきますので、引き続き格別のご協力とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、健康で穏やかな一年になることを祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

全国健康保険協会広島支部

支部長 松原 真児



協会けんぽ広島支部からのご挨拶

●ヘルスケア通信簿をお送りします

協会けんぽ広島支部では、従業員の健康課題を把握していただくために、健診結果や医療費データに基づき「ヘルスケア通信簿」を発行しています。

本年は、令和4年度までに受診された集計値を3年度分掲載した「ヘルスケア通信簿」を令和6年1月31日にお送りする予定です。

健康課題や取組状況を従業員の皆様と共有いただき、事業所で健康づくりの取組みをさらに推進していただくために「ヘルスケア通信簿」を是非ご活用ください。

●小規模事業所様には同業種集計版をお送りします！

事業所ごとの「ヘルスケア通信簿」につきましては、個人情報保護の観点から、個人が特定される恐れを防ぐために、被保険者が10名以上（令和5年3月31日時点）の事業所様のみにお送りしています。

小規模事業所様（被保険者2名から9名の事業所）には、貴社と同業種の事業所を全て集計した「ヘルスケア通信簿（同業種集計版）」をお送りします。

健康課題を把握しましょう

ヘルスケア通信簿で何がわかるの？

● 加入者（従業員＋家族）の1人当たりの医療費について、広島支部全体や同業種の事業所と比較することができます。

● 貴社の従業員の「健診受診率」「特定保健指導実施率」を経年で比較することができます。

● 貴社の従業員の方で、メタボリックシンドローム・糖尿病・高血圧・高脂血症・喫煙率等のリスクをお持ちの方の割合がわかります。

マンガで解説

マンガでしっかりわかる健康づくり

協会けんぽの「生活習慣病予防健診」「特定保健指導」「健診結果が「要治療」の方の病院受診の重要性」についてマンガでわかりやすく解説しています！

ヘルスケア通信簿に同封しています！



解決には
皆様の
ご協力が
必要です！

広島支部が抱える健康課題

協会けんぽ広島支部では、保有する健診結果や医療費データに基づき、加入者の健康状態を分析しています。

今回は、広島支部加入者の4つの健康課題についてお知らせします。職場の健康づくりに取り組む際のご参考として、ぜひご活用ください。

■入院外（調剤含む）の1人当たり医療費が高い

広島支部加入者の健康課題の一つ目は、入院外（調剤含む）の1人当たり医療費が高いことです。

要因として、「新生物の入院外（調剤含む）1人当たり医療費が全国平均を上回る」「55歳以上の1人当たり入院外医療費が全国平均を上回る」「ジェネリック医薬品の使用割合が全国平均より低い（令和5年7月現在、81・3%で全国38位）」ことなどが挙げられます。

■健診受診率が低い

二つ目の課題は、健診受診率が低いことです。

お勤めされているご本人様が受ける「生活習慣病予防健診」の令和4年度実績は、56・9%で全国平均より高かったものの、全国36位と低位でした。

規模別では、被保険者が10名未満の事業所で、実施率が50%未満と低い傾向で、業態別では、対象者数1万人以上の業態のうち、「職別工事業」が最も低く、全国平均より約4ポイント下回る結果となりました。

また、ご家族様が受ける「特定健診」について、令和4年度実績は、24・6%で全国41位と低位でした。地域別では、30万人以上の規模である「福山市」が全国平均よりも極めて低い結果となりました。

■代謝（血糖）リスクが高い

三つ目の課題は、健診結果において、代謝（血糖）リスクが高いことです。

業種別では、「道路貨物運送業」「機械器具製造業」



- お勤めされているご本人様は「生活習慣病予防健診」の受診を
協会けんぽからの補助があるため定期健康診断よりもお得です
- ご家族様は「特定健診」の受診を
お近くの福祉センターやホテルを会場とした「**集団健診**」もあります



●健診結果が
要治療 の従業員の方に、
要再検査 医療機関受診のお声がけをお願いします！



■睡眠で

栄養が取れていない方の割合が高い

四つ目の課題は、睡眠で栄養が取れていない方の割合が高いことです（健診時の問診結果より）。

地域別では、広島県西部が高い傾向にあり、業種別では、「道路貨物運送業」「機械器具製造業」の割合が高く、該当者が多い結果となりました。

また、令和2年度問診結果において、睡眠で栄養が取れていない方が、令和3年度にメンタル系疾患を発症されたリスクは、睡眠で栄養が取れている方と比較して、1・25倍高くなっています。



●睡眠改善リーフレットの活用
「いい睡眠で健康づくり」
(A4・6ページ)



詳しくはこちら



●健康づくり講座の受講
講座名「メンタルヘルス」に睡眠の内容が含まれています



●上手な医療のかかり方を意識する

- ・診療時間内の受診
- ・かかりつけ医を決める
- ・毎年健診を受ける

●ジェネリック医薬品を使用する



ジェネリックでお願いします